

令和5年 第1回定例会

一般質問文書表

稲城市議会

通告番号	氏名	質問項目 (18人、59項目)	備考
1	北浜 けんいち	1 救急車の適正利用について 2 南山東部土地区画整理事業地内の諸課題について	
2	山岸 太一	1 地域で介護事業を続けていくための介護事業者への支援について 2 所得制限の撤廃ですべての子どもへの支援について 3 化学物質の汚染から飲み水を守る取り組みについて 4 安心して住み続けるための平尾地域のまちづくりと、平尾団地再生支援について	
3	つのだ 寛美	1 街頭防犯カメラの維持・更なる拡充について 2 長峰オアシスの更なる利活用について 3 デジタル人材の確保について 4 読書通帳の更なる推進について	
4	角田 政信	1 商店街の活性化について 2 安全安心なまちづくりについて	
5	村上 洋子	1 有機フッ素化合物(PFAS)による汚染と安全性の確認、情報の周知について 2 ケアラー支援の推進について 3 若葉台公園管理棟の利用推進について 4 人権の視点を重視した、包括的で豊かな性教育の推進について	
6	市瀬 ひさ子	1 若者の政治参画について 2 持続可能な循環型のまちづくりを目指して 3 メンタルヘルスの不調を抱える人を支える取り組みについて 4 「緊急地震速報(長周期地震動階級)」発表に伴う市の対応について 5 がんとの共生社会の実現を目指して 6 誰もが安全に安心して集える公園について	
7	梶浦 みさこ	1 成果連動型民間委託契約方式(PFS)など、公民連携(PPP)の推進と市民サービスの向上について 2 合理的根拠政策立案(EBPM)について 3 令和12年以降のプラザについて 4 若葉台のまちづくりと諸課題について	
8	佐藤 しんじ	1 带状疱疹ワクチンについて 2 在宅高齢者見守りサービス事業「見守り電球サービス」について 3 高齢者の外出を促進する環境整備について	
9	坂田たけふみ	1 中高生の居場所づくりについて 2 小・中学生の運動・スポーツを通じた体力づくりについて 3 福祉サービス事業者の質の確保について	
10	川村 あや	1 情報の「見える化」で市民生活の利便性向上を図ることについて 2 民間(企業・飲食店)誘致で街の活性化および市税の増収を図ることについて 3 農業従事者の支援および市民との関わりについて	

11	岩佐ゆきひろ	1 市民を犯罪から守る取り組みについて	
12	岡田 まなぶ	1 気候変動対策の推進について 2 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更について 3 バスの拡充、デマンド交通について 4 性の多様性を認め合い、自分らしく生きていける社会をつくっていくことについて	
13	田島 きく子	1 市民農園の運営について 2 物価高から暮らしを守るためのゴミ袋の値下げについて 3 給食費無償化について 4 補聴器助成による加齢性難聴者への支援について 5 生理の貧困について	
14	いそむらあきこ	1 虐待やいじめなどを受けている子ども自身からの相談体制について 2 AED(自動体外式除細動器)の活用について 3 中学校の校則のあり方について 4 認知症施策の推進について	
15	武田 まさひと	1 農地の保全と都市型農業の推進について 2 再生エネルギーや自然エネルギーへの推進について	
16	中 田 中	1 稲城市の地域経済循環分析について 2 稲城市の少子高齢化の状況について	
17	榎本久春	1 緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について 2 高齢者虐待の現状と市の取り組みについて	
18	鈴木 誠	1 単独消防のまち・稲城の各種防災施策について 2 市の予防接種行政について 3 上平尾(平尾4丁目)地域の交通課題について 4 『世代循環が出来るまちづくり』について	

通告番号	会 派 名	氏 名
1	新政会	北浜けんいち

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>救急車の適正利用について</p> <p>救急車の適正利用は、市民の命を守るために重要な課題であります。しかしながら適正とは言いがたい利用が増加傾向にあります。</p> <p>また、コロナ禍において救急車の利用そのものが激増しており、改めて市民への救急車の適正利用について周知する事が重要であると認識しております。そこで救急車の利用状況と今後の取り組みについて見解を伺います。</p> <p>(1) 近年の救急車の利用状況について</p> <p>① 過去5年の出場件数について</p> <p>② 出場全体の中での軽症者の割合について</p> <p>③ 適正とは言えない利用について</p> <p>(2) 救急隊員の人員と勤務体制について</p> <p>(3) 救急隊全隊出場の場合の消防車両での対応について</p> <p>(4) #7119 について</p> <p>① #7119 の利用方法について</p> <p>② #7119 の市民への周知について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="310 253 1180 376">南山東部土地区画整理事業地内の 諸課題について</p> <p data-bbox="310 472 1201 824">現在も整備が続いている南山東部土地区画整理事業は、向陽台・長峰・若葉台のニュータウンの整備事業に次ぐ大規模な開発であり、持続可能な行財政運営を目指す稲城市にとって安定した市民税や固定資産税等の税収を確保するためにも重要な地域であります。</p> <p data-bbox="310 846 1201 947">そこで、この地域が抱える課題について市の見解を伺います。</p> <p data-bbox="330 1037 1216 1507"> (1) 公園の整備について (2) 多摩都市計画道路 多3・4・16号 稲城南多摩線の開通について (3) 路線バスや循環バスの運行について (4) 東京ジャイアンツタウン構想への稲城市のサポートについて (5) インターネットや携帯電話の通信環境の改善について </p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
2	日本共産党	山岸太一

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>地域で介護事業を続けていくための介護事業者への支援について</p> <p>厚生労働省は2021年度の決算を基にした、介護事業所の経営概況調査結果を公表しました。長引くコロナ禍により経営環境は厳しいものがあります。地域の介護を支える事業者に対して市として必要な支援を求める立場から質問をします。</p> <p>(1)「令和4年度介護事業経営概況調査結果の概要(案)」について</p> <p>①「各介護サービスにおける収支差率」で全サービス平均の令和3年度の数値について聞きます。</p> <p>②「新型コロナウイルス感染症に伴う『陽性者等の発生状況』別収支差率」で介護老人福祉施設・訪問介護・通所介護の「いずれかに該当あり」と「該当なし」の集計対象数の令和3年度の数値について聞きます。</p> <p>③「新型コロナウイルス感染症に伴う『施設・事業所運営への影響の状況』別収支差率」で介護老人福祉施設・訪問介護・通所介護の「いずれかに該当あり」と「該当なし」の集計対象数の令和3年度の数値について聞きます。</p> <p>(2) 持続可能な事業のための支援について</p> <p>①令和4年度介護事業経営概況調査の結果は、市内の介護事業者にも同じような状況が当てはまるのではないかと考えるが認識を聞きます。</p> <p>②介護事業者が安定して事業を続けていくため市として支援について認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>所得制限の撤廃ですべての子どもへの支援について 児童手当をはじめとした、子育て支援関連の所得制限 についての批判が高まっています。所得制限を撤廃し て、すべての子どもへ支援を行う事を求める立場から質 問します。</p> <p>(1) 子育て支援の所得制限の現状について</p> <p>① 児童手当の支給対象の子どもの数と、所得制限により 対象外となっている子どもの数を聞きます。</p> <p>② 小中学生の医療費助成の対象となっている子どもの 数と、所得制限によって対象外となっている子どもの 数を聞きます。</p> <p>(2) 所得制限の撤廃について</p> <p>① 子育て支援制度については所得制限を撤廃すべきと 考えるが認識を聞きます。</p>	
3	<p>化学物質の汚染から飲み水を守る取り組みについて 発がん性物質「有機フッ素化合物 (PFAS)」の飲み水へ の汚染が多摩地域の広範囲で明らかになっています。大 事な飲料水を化学物質の汚染から守るために汚染源の 特定や規制対策を求める立場から質問します。</p> <p>(1) 発がん性物質「有機フッ素化合物 (PFAS)」につい て</p> <p>① 「有機フッ素化合物 (PFAS)」の特徴を聞きます。</p> <p>② 「有機フッ素化合物 (PFAS)」の飲み水への規制状況に ついて聞きます。</p> <p>(2) 「有機フッ素化合物 (PFAS)」の検出状況について</p> <p>① これまでの稲城市内の浄水所における「有機フッ素化 合物 (PFAS)」の検出状況を聞きます。</p> <p>② 化学物質の汚染から飲み水を守る取り組みについて 市としての認識を聞きます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>安心して住み続けるための平尾地域のまちづくりと、平尾団地再生支援について</p> <p>平尾団地建て替えのスローダウンが検討されています。住み続けられるまちづくりを進めるために、市が積極的な役割を果たすことを求める立場から質問します。</p> <p>(1) 買い物拠点の確保について</p> <p>①平尾団地商店街旧スーパーヤマザキ跡地への商業施設の誘致状況について聞きます。</p> <p>(2) 平尾団地再生について</p> <p>①建て替え決議までの今後のスケジュールについて聞きます。</p> <p>②「平尾センター地区まちづくり協定書」の内容について聞きます。</p> <p>③建て替え補助事業の実施について認識を聞きます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
3	公 明 党	つ の じ 寛 美

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>街頭防犯カメラの維持・更なる拡充について</p> <p>公明党は、犯罪抑止や、未然防止を目的としている街頭防犯カメラの設置を強く訴え、要望して参りました。稲城市では、小学校の通学路や市内公園等への設置を推進していることに感謝致します。これからも、防災・防犯、高齢者や子どもたちの見守りなど、地域社会の諸課題の解決に向け、社会インフラ整備を推進し、安全で安心なまちづくりを目指すためにも、市民の皆様から街頭防犯カメラの設置を願う4,193名の署名をいただき、公明党市議団として市長へ届けました。防犯カメラについて、引き続き、維持管理を求めると、ともに更なる拡充を求めます。</p> <p>(1) 街頭防犯カメラの状況について伺う。</p> <p>(2) 街頭防犯カメラの増設について伺う。</p> <p>(3) 自治会補助金の今後の取組について伺う。</p>	
2	<p>長峰オアシスの更なる利活用について</p> <p>長峰オアシスは、地域のどなたでも立ち寄れる交流の場であり、憩いの場、地域の縁側としてスタート致しました。今回、私が長峰連合会の会長として昨年来から活動をしておりますことから長峰地域の皆さまのご要望を頂きましたので質問致します。</p> <p>(1) 長峰オアシスとふれあいセンター長峰の利用状況について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>(2)長峰オアシスの諸課題については、誰でもトイレ内に赤ちゃんのおむつ交換台設置や、来場者用の検温器(スタンド型で自動検温出来るもの)設置や、ふれあいセンターのロッカーへの突っ張り棒(地震転倒防止)設置等伺ってます。そこで、長峰オアシスの充実に向けた今後の取組について伺います。</p>	
3	<p>デジタル人材の確保について</p> <p>自治体の規模によっては、デジタルに精通した専門人材を確保することが難しい状況を踏まえ、国において、都道府県が高度専門人材を確保して、自治体に派遣できる新制度を2023年度に創設するなど、デジタル社会の目指す姿の実現に向けた人材の確保・育成をすることが重要であり、その取組の推進が求められているところです。稲城市においても、行政のデジタル化を進める上でデジタル人材の確保が重要であり、その方法としては、外部人材の確保や、市の内部人材の育成といった内外の人材活用が考えられます。市の考え方を伺います。</p> <p>(1)デジタル人材活用の現状について伺う。</p> <p>(2)外部人材の確保に対する今後の取組について伺う。</p> <p>(3)内部人材の育成に対する今後の取組について伺う。</p>	
4	<p>読書通帳の更なる推進について</p> <p>4月23日「子ども読書の日」や「こどもの読書週間」は、子供たちにもっと本を、子どもたちに</p>	

通告番号	会派名	氏名
4	新政会	角田政信

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>商店街の活性化について</p> <p>私は、昭和 59 年に全国商工会議所及び全国商工会連合会の主催による「若手後継者等体験研修会」に参加しました。全国で 467 人の 20～30 歳代の若手が集まり、約5週間の体験学習でした。</p> <p>(1) 現在そのような研修があるのか伺います。</p> <p>(2) 稲城版「若手後継者等体験研修会」のような会の提案について 「市内の商店街を活性化するために」若い人達の自由な発想は欠かせませんが、市の考えは。</p> <p>(3) 京王よみうりランド駅周辺及び弁天通り商店街の賑わいづくりについて 改めて東京ジャイアンツタウン構想が発表されました。これを良い機会ととらえ京王よみうりランド駅周辺の商店街としての弁天通り商店街をさらに充実させる等活性化に努めていただきたい。市の認識を伺います。</p>	
2	<p>安全安心なまちづくりについて</p> <p>刑法犯認知件数が、20 年ぶりに増加に転じたとの報道がありました。</p> <p>(1) 稲城市の令和 4 年の数値目標と実績について伺います。</p> <p>(2) 事件の背景にある「闇バイト」への対策について 「闇バイト」の募集の書き込みは雨後の竹の子のように SNS 上に現れます。若者らがお金欲しさに応募するケースをどう防ぐか。闇バイトに応じれば、逮捕され刑務所に送られ人生を台無しにするというリスクを具体的に啓発していくことが重要だと思えます。市の認識について伺います。</p> <p>(3) 稲城市の市民に対する防犯対策の周知について伺います。</p> <p>(4) 刑法犯における再犯の状況について伺います。</p> <p>(5) 再犯防止推進計画の概要について伺います。</p> <p>(6) 今後の再犯防止に対する市の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
5	市民クラブ	村上洋子

項目番号	質問要旨	摘要
1.	有機フッ素化合物 (PFAS) による汚染と安全性の確認、情報の周知について	
	<p>有害性が指摘されている有機フッ素化合物「PFAS」について、環境省が2021年度に実施した河川や地下水の調査では、31都道府県のうち13都府県81地点で暫定的な目標値を上回る高い濃度が検出され、東京都の多摩地区では特に高い数値が確認されています。</p> <p>多摩地域では市民団体が専門家と協力し、住民の血中濃度などを独自に調査した結果、これより先に調査が行われた沖縄市などを上回る数値が確認されています。</p> <p>飲み水となる水道水、井戸水や、土壌などの安全性の点検は勿論のこと、PFASに関する情報提供を積極的に行い、市民の不安に応える対応が必要と考え質問を致します。</p>	
	<p>(1) 現時点でのPFASに関する国、東京都の対応について伺います。</p> <p>① 水道水について</p> <p>② PFAS使用の規制について</p> <p>(2) PFASの安全性についての市の認識と、今後の対応、市民への情報提供について伺います。</p> <p>① 市の認識について</p> <p>② 今後の対応について</p> <p>③ 市民への情報提供について</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2.	ケアラー支援の推進について	
	<p>埼玉県で全国初のケアラー支援条例が令和2年3月に公布・施行されました。それ以降、いくつかの自治体が同様の条例を制定しています。</p> <p>ヤングケアラーをはじめ、すべてのケアする人を支えるケアラー支援のしくみをつくり、ケアラーが、個人として尊重され、健康で文化的な生活を営むことができるよう、社会全体で支えることは重要であると考え質問致します。</p>	
	<p>(1) 国内のケアラー支援条例の策定状況と、条例の内容の概要について伺います。</p> <p>(2) 市の現在のケアラー支援の現状について伺います。</p> <p>① 高齢者ケア</p> <p>② 障がい者ケア</p> <p>③ 子育て</p> <p>④ ヤングケアラー</p> <p>⑤ その他のケアラー（ダブルケアや病気の人 のケアなど）</p> <p>(3) 今後のケアラー支援の推進について市の認識を伺います。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3.	若葉台公園管理棟の利用推進について	
	若葉台公園管理棟の利用について、地域住民、市民の要望を聞き取り、より満足度の高い利用を推進すべきと考え質問致します。	
	<p>(1) 若葉台公園管理棟会議室の利用状況について伺います。</p> <p>(2) 利用者、周辺住民、市民へのニーズ調査の現状について伺います。</p> <p>(3) 今後の利用促進について、市の認識を伺います。</p>	
4.	人権の視点を重視した、包括的で豊かな性教育の推進について	
	<p>稲城市においては、人権の視点を重視した包括的で豊かな性教育の推進が急務であると考えます。</p> <p>子どもたちへの教育は勿論のこと、教員、地域が連携して、学ぶことが大変重要と考え、質問致します。</p>	
	<p>(1) 人権の視点を重視した、包括的で豊かな性教育の実施について教育委員会の認識を伺います。</p> <p>(2) 学校以外の機関との連携等についてのお考えを伺います。</p> <p>(3) 目標とすべき、あるいは参考にすべきと考える性教育の事例について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
6	公 明 党	市瀬 ひさ子

項目番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>若者の政治参画について</p> <p>若者の政治や政策への参画の機会が減少していることは、全国共通の課題となっています。一方 まちづくりやSDGsを学ぶ機会が増えたことで、若者視点のまちづくりやプロジェクト等、思いを形にできることでまちへの愛着が深まるとともに、将来の職業選択等にもつながります。次代を担う若者が社会に対して自分の意見を表明し、政策に反映させる場と仕組みを確立するための若者会議の設置は重要であると考えます。若者の声を政策に活かす組織づくりについて伺います。</p> <p>(1)若者の声を市政や地域活動に活かしていく取り組みについて、市の見解を伺います。</p> <p>(2)若者会議の設置について市の見解を伺います。</p>	
2	<p>持続可能な循環型のまちづくりを目指して</p> <p>(1)第2次稲城市一般廃棄物処理基本計画について</p> <p>「4R+1の推進による循環型まちづくり」との標語を掲げ、令和5年度を目標年度としながら市民・事業者・行政の協働により推進されています。</p> <p>①総仕上げの年を迎える中で、設定した数値目標に対しての進捗状況を伺います。</p> <p>②第2次稲城市一般廃棄物処理基本計画では目標達成のための具体的施策が6項目挙げられています。中でも市民が主体となって取り組んで頂</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	いた項目について進捗状況を伺います。	
	(2) 本年4月よりプラスチックごみとガラス類・陶磁器類の分別収集が開始されます。更なるごみの減量とリサイクルが推進されるとともに、焼却で生じるCO ₂ の削減が図れることは地球温暖化対策として大きな成果につながるものと考えます。	
	① プラスチックごみの分別収集に向け、各地区でオープンハウスを開催、またホームページから意見や感想を募集されています。これらの中で頂いたご意見・ご要望等で実際に検討されたことについて伺います。	
	② 訪問介護の生活援助を受けていない高齢世帯や居宅介護など障害福祉サービスを受けていない障がい者世帯など、新たな分別に慣れるまで支援が必要な世帯が生じると考えます。市としての対応や考え方を伺います。	
	(3) 2月15日号の広報いなぎにおいて、4月より無料アプリ「稲城ごみ分別アプリ」の市民への配信が開始されるとの記事を拝見致しました。持続可能な循環型のまちづくりに向けた、利便性向上の取り組みを高く評価するとともに、多くの市民に活用されることを期待致します。新たにごみ分別アプリを作成した経緯について伺います。	
	(4) 持続可能な循環型のまちづくりに向け、新年度よりプラスチックごみとガラス類・陶磁器類の分別収集が開始されます。この新事業に向けての目標値等、市の思いを伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="288 248 1276 353">メンタルヘルスの不調を抱える人を支える取り組みについて</p> <p data-bbox="288 376 1276 987">うつ病や不安障がいなどの心の病は、日本人の5人に1人が生涯のうちに経験するとされています。メンタルヘルスなどへの正しい知識を持ち、地域や職場で悩む人に寄り添い手助けしていくことは重要であると考えます。公明党は心の不調への対策を求める多くの声を受け政府に働きかけた結果、2021年度には心のサポーター養成のモデル事業が予算化されました。厚生労働省は2024年度からの全国展開を目指し、2033年度までに100万人のサポーターの育成を目標に取り組みを加速させています。</p> <p data-bbox="288 1003 1276 1361">(1)稲城市においては、自殺対策を支える人材の育成として、「こころの健康づくり講演会」などの開催に併せ、市民や市職員を対象にゲートキーパー養成講座を実施してきていると認識しています。令和2年度以降、コロナ禍での実績等について伺います。</p> <p data-bbox="288 1377 1276 1482">(2)心の不調に寄り添う、心のサポーター「ここサポ」養成事業について市の認識を伺います。</p> <p data-bbox="288 1498 1276 1671">(3)心のサポーター「ここサポ」養成事業の早期実施に期待致します。全国展開に向けた市の見解を伺います。</p>	
4	<p data-bbox="288 1749 1276 1861">「緊急地震速報(長周期地震動階級)」発表に伴う市の対応について</p> <p data-bbox="288 1877 1276 1989">平成23年東北地方太平洋沖地震の際には、広範囲で長周期地震動が観測され、東京都内の高層ビルの</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>上階で家具類の転倒、また震源から約 700km 離れた大阪市の高層ビルでは、エレベーター停止による閉じ込め事故や防火扉が破損する等の被害が発生しています。気象庁では、本年 2 月 1 日より、緊急地震速報の発表基準に長周期地震動階級の予測値を追加した運用を開始し、稲城市においても Jアラートにより防災行政無線による自動起動の放送が行われます。議会への報告もありましたが、1923(大正 12)年に発生した関東大震災から 100 年の節目となる本年、災害に備えることが重要であるとの考えから、質問致します。</p>	
	(1)長周期地震動の主な特徴について伺います。	
	(2)市内で警戒が必要な高層の建物について、階層、また地区ごとに何棟あるのか伺います。	
	(3)市民等への周知について伺います。	
5	<p>がんと共生社会の実現を目指して</p> <p>(1)がん教育について</p> <p>令和 3 年第 1 回定例会において、市立病院の医師や看護師を外部講師として活用するがん教育の実現について、市と市立病院より前向きな答弁を頂いております。コロナ禍ではありますが、がん教育の進捗状況等について伺います。</p> <p>(2)がん検診における集団検診の拡充について</p> <p>現在保健センターや複合施設ふれんど平尾において、検診車による乳がん検診が実施され、定員を上回る申し込みがあると伺っています。仕事や子育て、家事にと忙しい女性にとって、身近な施設で女性特有の 2 大がんと女性の罹患数第 2 位の大</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>腸がん検診を受診できることは、市民の利便性と受診率の向上、そして早期発見・治療により命を守ることに繋がります。検診車を活用した、レディース集団検診について市の見解を伺います。</p>	
	<p>(3)アピアランスケア支援について</p>	
	<p>東京都は都議会公明党の推進により、2023年度予算においてアピアランスケア用品購入費を助成する区市町村に対し、1/2の補助を決定致しました。アピアランスケア用品購入費の助成について市の見解を伺います。</p>	
6	<p>誰もが安全に安心して集える公園について</p>	
	<p>(1)稲城市は都市基盤の整備に伴い、市内に公園が着実に整備されてきています。昨年には、大丸都営団地内の保育園横に大丸げんき公園がオープンしました。また、坂浜の小田良地区にも、地域の方々のご尽力により公園が開設されています。そこで、現在の公園の整備状況と市民一人当たりの面積について伺います。</p>	
	<p>(2)現在、改訂作業が進められている「稲城市緑の基本計画」の計画理念が、現行の「水と緑の継承と創造」から「水と緑の継承と調和」とする案となっています。この見直しのコンセプトについて伺います。</p>	
	<p>(3)市民の憩いの場である公園を次世代に継承していくためには、適切な維持管理と魅力あるリニューアル等を計画的に実施する必要があると考えます。そこで予めから提案している「公園施設長寿命化計画」を策定することについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
7	新政会	梶浦みさこ

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>成果連動型民間委託契約方式(PFS)など、公民連携(PPP)の推進と市民サービスの向上について</p> <p>市民にとって効率的かつ効果的な行政サービスの提供に取り組み、新たな市民ニーズに柔軟に対応していくため、公民連携により社会課題を解決する様々な手法を用いながら、さらなる市民サービス向上と健全な行財政運営を行うことについて伺います。</p> <p>(1)令和4年度予算に占める公民連携(PPP)事業について</p> <p>令和4年度一般会計予算における指定管理者制度、PFI事業などの公民連携(Public Private Partnership :PPP(ピーピーピー))による事業の総額と事業数について伺います。</p> <p>(2)成果連動型民間委託契約方式(PFS)の導入等による市民サービスの向上について</p> <p>成果連動型民間委託契約方式(Pay for Success:PFS(ピーエフエス))を用い、市民にとって効率的かつ効果的な行政サービスの提供に取り組み、新たな市民ニーズに柔軟に対応していくことについて伺います。</p>	
2	<p>合理的根拠政策立案(EBPM)について</p> <p>政府や地方公共団体の仕事の進め方を根本的に見直し、より効果的で効率的なものに変える、「根拠に基づく政策立案(Evidence-Based Policy Making:EBPM(イービーピーエム))」と呼ばれる考え方が注目されています。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	<p>稲城市の予算執行にあたり市民の実態に寄り添い現実的な政策となるよう、政策立案や検証、予算積算の一連の事務に合理的根拠政策立案(EBPM)の視点から取り組むことについて伺います。</p>	
3	<p>令和12年以降のiプラザについて</p> <p>平成21年(2009年)の開館から14年。令和11年度の維持管理・運営期間20年の契約期間満了まで、残すところ6年。iプラザの施設の維持管理と運営に関して、令和12年(2030年)度以降の方針について検討を始めているのか、今後検討を始めるにあたりどのように進めていく考えであるのか伺います。</p>	
4	<p>若葉台のまちづくりと諸課題について</p> <p>平成11年(1999年)のまち開きから24年を迎えた「若葉台」。地域に暮らし・訪れる市民が快適で安心・安全に生活し、賑わいのあるまちづくりを引き続き目指すことを念頭に伺います。</p> <p>(1)若葉台の子育て支援について</p> <p>①令和5年1月1日現在の乳幼児(0～5歳)の歳児別人口について</p> <p>②令和4年4月1日の若葉台地区の待機児童数について</p> <p>③若葉台地区での地域子育て支援事業の開催状況について</p> <p>(2)若葉台の介護事業・高齢者福祉について</p> <p>①令和5年1月1日現在の前期高齢者と後期高齢者の年齢の人口について</p> <p>②若葉台の高齢化に関する推計と課題について</p> <p>③若葉台の介護事業所の状況について</p> <p>④若葉台での「ふれあいセンター」の開設など、高齢者を含めた誰</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
	もが安心して気軽に集える居場所作りについて	
	(3)若葉台の学校教育環境について	
	①若葉台小学校・稲城第六中学校の在籍の児童数・生徒数について	
	②若葉台小学校・稲城第六中学校の今後の児童数・生徒数の今後の推計について	
	③若葉台小学校・稲城第六中学校の学校施設の修理・保全の取り組みについて	
	④若葉台小学校・稲城第六中学校における地域に根差した教育活動とSDGsについて	
	(4)若葉台の自治会・町会活動への支援について	
	若葉台の自治会・町会と市の協力・連携によるまちづくりの取り組み状況と支援について伺います。	
	(5)若葉台の地域安全について	
	①若葉台の令和4年の刑法犯認知件数について	
	②若葉台の自治会等による防犯活動への支援について	
	(6)若葉台の商業振興について	
	都道沿いロードサイドの大きな商業施設が令和5年2・3月、閉店2	
	件・移転開業1件となりました。特に定期借地により建設され営業して	
	いる商業施設は今後10～15年間に相次ぎ借地期限が終了するので	
	はないかと予想されます。今後の若葉台の商業振興について伺いま	
	す。	
	(7)若葉台の交通安全対策と道路の補修・整備について	
	①若葉台の令和4年の交通事故の件数と状況について	

項目番号	質問要旨	摘要
	②若葉台の交通安全対策と道路の補修・整備について	
	(8)若葉台の公共交通の環境向上について	
	①若葉台駅から南多摩駅間の京王バス「若02」系統の増便について	
	<p>平日の早朝4本、夜間2本、若葉台駅から南多摩駅を往復する路線バス「若02」について、市民の交通利便性の向上にむけ、若葉台駅から南多摩駅間の京王バス「若02」系統の朝夕の便数の強化や昼間・土日祝の増便について伺います。</p>	
	②バス停の屋根・ベンチの設置推進について	
	<p>バス停の屋根、シェルター(上屋)やベンチの設置について要望を多くいただきます。特に、今後高齢化が加速する若葉台において、路線バスの利用は重要な交通手段となることから、バス事業者と協力して、未設置のバス停に屋根、シェルター(上屋)やベンチの設置を要望・推進することについて伺います。</p>	
	(9)若葉台地区の公園・緑地の維持管理と機能向上について	
	<p>若葉台の12カ所の公園・緑地・遊び場について、市民の憩いの場として、また地域の子供たちが安心して活発に遊べる場として、快適に利用できるよう維持管理と機能向上について伺います。</p>	
	①若葉台地区内の公園のインクルーシブ遊具の設置とインクルーシブパーク化について	
	②若葉台公園ピクニック広場のバーベキューの利用状況とマナー向上の取り組みについて	
	③若葉台公園防災倉庫に備蓄している資機材の維持管理について	

通告番号	会派名	氏名
8	公明党	佐藤しんじ

項目事項	質問要旨	摘要
1	<p>带状疱疹ワクチンについて</p> <p>令和4年第2回定例会の一般質問で、带状疱疹ワクチンについて質問をいたしました。そこでは、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会ワクチン評価に関する小委員会にて、带状疱疹ワクチンについての審議が重ねられてきたことを踏まえ、国の動向について質問をいたしました。また、併せて市の動向も伺いました。</p> <p>「带状疱疹ワクチンを接種したいが費用が高いため接種できない。何とかしてほしい。」とのたくさんのお声をいただいております。そのようなお声にお応えすべく、公明党はこれまで、国会の場で定期接種化を訴えてきておりますが、実現までに時間を要していることから、都議会や市議会の場で、带状疱疹ワクチン接種への補助事業の実現を併せて訴えてきております。その成果として、今般、東京都において、带状疱疹ワクチン任意接種補助事業が創設されるに至りました。そこで今回は、東京都の動向及び、改めて市の動向について質問をいたします。</p> <p>(1)東京都の動向について伺います。 ①带状疱疹ワクチン任意接種補助の概要について伺います。 ②都内市区町村の状況について伺います。</p> <p>(2)東京都の補助事業が開始されるに伴い、改めて市の見解を伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>在宅高齢者見守りサービス事業「見守り電球サービス」について</p> <p>在宅高齢者を見守るサービス「見守り電球サービス」は開始から間もなく1年になります。当該サービスについて私たち公明党稲城市議団は、試行期間終了後も事業を継続することと、申請基準の緩和により、より多くの方にご利用いただけるようにするための署名活動をこの度行いました。3555名と、多くの市民の皆様よりご署名をいただきまして、2月10日に高橋市長に提出をいたしました。</p> <p>(1)現状、効果について伺います。</p> <p>(2)今後について伺います。</p>	

項目 事項	質 問 要 旨	摘 要
3	<p>高齢者の外出を促進する環境整備について</p> <p>外出をすることは、高齢者の心身の健康を維持増進するための一つの重要な要因であり、そして、高齢者の外出への意欲を高めるための環境整備や、転倒の危険性のある道路を改善して行く必要があると考えます。</p> <p>(1)高齢者の外出への意欲を高めるための環境整備について ベンチや公衆トイレを外出時に利用出来る環境は高齢者の外出意欲を高める大きな要素であると考えます。ベンチや公衆トイレの設置について、市の認識を伺います。</p> <p>(2)車道等に接続するための歩道の傾斜面や、歩道と車道の段差について 車道等に接続するための歩道の傾斜面や、歩道と車道の段差により、歩行中の高齢者が転倒する恐れがあると考えます。このことについて市の認識を伺います。</p> <p>(3)杖ホルダー等の設置について 杖を落としてしまうと、拾うのがとても大変であるとお聞きします。杖を落としてしまうことがないよう、トイレやカウンターに杖ホルダーや杖立てを設置する必要があると考えます。高齢者が利用する主な公共施設における杖ホルダーや杖立ての設置状況について伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
9	新 政 会	坂田たけふみ

項目番号	質 問 要 旨	摘 用
1	<p>中高生の居場所づくりについて</p> <p>現在、市内には児童福祉法に基づき、0～18歳未満までの全ての子どもが利用することが出来る施設として児童館があります。</p> <p>しかし実際には、中高生世代の利用人数はそれほど多くないのではないかと思います。中高生が積極的に放課後の居場所として児童館を利用するには、中高生のニーズを把握する必要があると考えます。そこで、これからの日本の未来を担う若者たちが、積極的に利用したいと思える施設を設けるべきだと考え、以下の質問をします。</p> <p>(1)令和3年度の児童館の利用人数と、利用人数のうち、中高生の人数について伺います。</p> <p>(2)児童館以外の中高生の居場所について伺います。</p> <p>(3)中高生のニーズ調査を行う事について伺います。</p> <p>(4)調布市青少年ステーション CAPS について市の認識を伺います</p> <p>(5)中高生のニーズを取り入れた居場所づくりについて伺います。</p>	
2	<p>小・中学生の運動・スポーツを通じた体力づくりについて</p> <p>小・中学生による運動やスポーツを通じた体力づくりは、将来にわたり、心身ともに健康で活力ある生活を送るうえで、大変重要な時期であると認識しています。そのためには、学校生活における体育の授業や、放課後の体を使った遊びやスポーツによる、日頃からの運動習慣により、体力を向上させる必要があります。</p> <p>しかしながら、コロナ禍が4年を迎える中、運動をする機会が減り、児童・生徒の体力低下が懸念されています。</p> <p>そこで、児童・生徒のそれぞれの年齢に応じた運動・スポーツを通じた体力づくりについて以下の質問をします。</p>	

通告番号	会派名	氏名
10	新政会	川村 あや

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>情報の‘見える化’で市民生活の利便性向上を図ることについて</p> <p>令和4年第2回定例会では市民サービスの向上「書かない窓口」導入についての質問をさせていただきました。 その背景には、行政手続き申請者および職員の負担軽減、およびコロナ禍による生活様式の変化に伴い、来庁および窓口での度重なる申請は年齢問わず手間のかかることだと感じたからです。 今回は、書かないよりも、より利便性の高い来庁しなくても良いオンラインによる情報の‘見える化’について質問させていただきます。</p> <p>(1)市のオンラインサービスの現状と課題について</p> <p>①コロナによって人との接触を制限する事があります。この事をきっかけに、行政手続きのオンライン化が注目され、導入を進める自治体が増えています。 今後も、ウィズコロナとして新しい生活様式が求められることから、市役所においてもオンライン活用の加速化が求められていると思います。 市の考えを伺います。</p> <p>②スマートフォンを活用する事で、様々な窓口の機能を一覧する事が可能なサービスがあります。稲城市でもHPを充実させることやQRコードでの情報提供等、市民に寄り添ったICTの導入が進められてきています。しかしながら、各部署ごとに内容の見え方や情報提供の仕方がまちまちであることは、市民にとって分かりにくく、得たい情報そして申請までに時間を要する事になると思います。より住民目線の‘見える化’所謂、分かりやすさが必要であると思います。一目で窓口機能が分かるアプリ等の導入をと考えますが、市の考えを伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
2	<p>民間(企業・飲食店)誘致で街の活性化および市税の増収を図ることについて、</p> <p>少子高齢化および人口減少と言われている昨今、稲城市は、人口が増え平均年齢が下がっている全国的にも数少ない地域です。また、コロナ禍で税収減が懸念されている地域が多い中でも稲城市は比較的、安定した行財政運営が行われています。また、近年では、TOKYO GIANTS TOWN構想が進捗し市内外からの人出も見込まれる事から、より市内の充実を図れる良いタイミングであると思ひ、街の活性化および市税の増収へ繋がる企業や飲食店の誘致について質問させていただきます。</p> <p>(1)企業や飲食店を誘致することについて市の考えを伺います。</p> <p>(2)これまでの取組みと近年の実績について伺います。</p> <p>(3)財政に与える効果と影響について伺います。</p> <p>(4)企業・飲食店誘致にむけた課題について伺います。</p> <p>(5)今後の取組みについて伺います。</p>	

項目 番号	質問要旨	摘要
3	<p>農業従事者の支援および市民との関わりについて</p> <p>この4年間、一般質問では「稲城市の農業を守り・育て・拡めることについて」「稲城市の不耕作農地について」「市内農家の担い手の確保と支援について」「農作業に伴い発生した剪定枝等のクリーンセンター多摩川への持ち込みについて」「市内での農業体験について」「農業従事者および新規就農者への支援について」など、農ある稲城を守る取り組みについて質問させていただきました。</p> <p>自身が農業に携わることで感じたこと、分かったこと、そして実際の現場の声と、その環境を取り巻く人々の声を聞いてきたことから、引き続き質問させていただきます。</p> <p>(1) 農業従事者を取り巻く環境整備について 5年に1度実施される農林業センサスによると、市内の農家数が平成22年が280戸、平成27年が251戸、令和2年が222戸との事で、10年間で約21%減少しています。 全国的に見ても、農業者の高齢化や後継者が不足していることから、更なる減少が予想できます。</p> <p>①後継者不足の原因について市の考えを伺います。</p> <p>②援農ボランティアについて 平成28年度からスタートしている援農ボランティア養成講座「いなぎ農業ふれあい塾」を卒業した塾生が援農ボランティアとして活躍し、自身で作った作物を収穫して商品として販売するまでしている方もいらっしゃいます。 援農ボランティアの人数及び受け入れ農家の登録件数の推移について伺います。</p> <p>③農家への支援について市の取り組みを伺います。</p> <p>④農地と隣接する住民の理解について市の取り組みを伺います。</p> <p>(2) 農業と地域コミュニティの促進について ①農業体験農園や観光農園など、一般の方が手軽に農業に触れ合える始められる場所について伺います。</p> <p>②農業と学校教育との連携について現状を伺います。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
11	改革稲城の会	岩佐ゆきひろ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	市民を犯罪から守る取り組みについて	
	<p>(1) 市内では最近、侵入窃盗が急増しており、市民の皆様からも、不安だという声が多数寄せられております。過去から現在までの被害件数と対策についてうかがいます。</p> <p>① 令和元年から令和3年まで過去3年間の市内の侵入窃盗の被害件数について</p> <p>② 令和4年の市内の侵入窃盗の被害件数について</p> <p>③ 市民を犯罪から守る市の取り組みについて</p>	
	<p>(2) 侵入窃盗等、犯罪が増えている中で、早急な事件解決の為や、犯罪の抑止力にもつながる防犯カメラの新たな設置をしていくべきと考えます。以下の点についてうかがいます。</p> <p>① 現在の市内の防犯カメラの設置状況について</p> <p>② 今後の新たな防犯カメラを設置していく事について</p> <p>③ 自治会防犯カメラの普及について</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
12	日本共産党	岡田まなぶ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>気候変動対策の推進について</p> <p>「巨大台風で堤防が次々決壊し、町を飲み込んだ」「北極の氷がとけて、海面が上昇」「高温と乾燥が原因で、世界各地で山火事が発生」、気温上昇によって「100年に1度の異常気象」と言われるような事態が身近に起きています。地球の平均気温の上昇を産業革命前に比べて「1.5度以下に制限する」ことが求められ、気候変動から人類と地球を守る取り組みが最重要課題となるもと、市の取り組みを問う。</p> <p>(1) 気候変動対策について、重要性の認識と取り組み姿勢は。</p> <p>(2) 稲城市全体から排出される温室効果ガスの削減について。</p> <p>(3) 省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入拡大を進める取り組みについて</p> <p>(4) 食品ロスの削減の取り組みについて。</p> <p>(5) 気候変動についての啓発、学習会、講演会等に積極的に取り組むべきと考えるが認識は。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p style="text-align: center;">新型コロナウイルス感染症の 5類感染症への変更について</p> <p>(1) 5類変更により感染対策に対する意識が緩み、感染急拡大が生じて再び死亡者数が増加するなどのリスクがある。新型コロナは引き続き警戒を強めることが必要な感染症であることや、医療・福祉の現場の深刻なひっ迫状況、ワクチン・検査・マスク・換気・手洗いなどの感染対策の有効性などについて、科学的で正確な情報発信を強化すべきと考えるが認識は。</p> <p>(2) コロナ医療費の公費負担、診療報酬の特例、病床確保のための支援、入院調整の実施、ワクチン接種費用の公費負担、医療機関や福祉施設・事業所、学校での集中的検査、感染不安のある方への無料のPCR等の検査、臨時の医療施設、発熱相談の窓口の設置などの対策について、継続・強化を国、東京都に求めていくべきと考えるが認識は。</p> <p>(3) 医療機関や高齢者施設でクラスターが発生してきた。5類移行後も感染対策は重要と考えるが認識は。</p> <p>(4) 5類変更にあたっての市立病院、市内医療機関の対応について。</p>	
3	<p style="text-align: center;">iバスの拡充、デマンド交通について</p> <p>(1) iバスが「混んでいる」「増便してほしい」という声が寄せられている。30分に1本のiバスをめざして増便を検討すべきと考えるが認識は。</p> <p>(2) 東京都にiバスの運行補助を求めることについて。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>(3) バス停へのベンチや屋根の設置についての市の基本的な考え方は。</p> <p>(4) バスのようにあらかじめ決まった時間帯に決まった停留所を回るのではなく、利用者の予約に応じて、指定した時間に指定した場所へ送迎する交通サービス、デマンド交通に取り組む自治体が増えている。デマンド交通についての市の基本認識は。</p> <p>(5) 多摩地域の自治体でもデマンド交通の実施や実証実験が行われている。稲城市でもデマンド交通について検討すべきと考えるが認識は。</p> <p>性の多様性を認め合い、自分らしく生きていける</p> <p>社会をつくっていくことについて</p> <p>性の多様性を認め合い、誰もが個人の尊厳を尊重される社会をつくっていくことを求めて質問する。</p> <p>(1) 性の多様性の尊重についての市の基本認識は。</p> <p>(2) 市民向けの啓発、学習会、講演会等の取り組みについて。</p> <p>(3) 性の多様性の尊重について、市の職員、子どもに関わる教職員や保育士などを対象にした研修について。</p> <p>(4) 学校における性の多様性の尊重の学習、取り組みについて。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
13	日本共産党	田島きく子

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>市民農園の運営について 稲城市の市民農園を充実させてほしいという市民からの声があります。さらなる充実を求める立場から質問します。</p> <p>(1)市民農園が設置されている目的についてききます。</p> <p>(2)現在の市民農園の数と募集状況についてききます。</p> <p>(3)市民農園の拡充について認識をききます。</p>	
2	<p>物価高から暮らしを守るためのゴミ袋の値下げについて</p> <p>(1)令和4年度当初予算の使用料・手数料におけるゴミ袋代の総額と種類別の内訳についてききます。</p> <p>(2)物価高から市民の暮らしを守るためにゴミ袋代を値下げすることについて認識をききます。</p>	
3	<p>給食費無償化について 小中学校の給食費完全無償化実現を求める立場から質問します。</p> <p>(1)児童・生徒一人当たりの年間の学校給食費の金額についてききます。</p> <p>(2)子育て支援として給食費無償化を実施するべきと考えますが、認識をききます。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>補聴器助成による加齢性難聴者への支援について 高年齢者の2人に1人は難聴であると推計されています。 高年齢化が進むなかで、聞こえの支援はきわめて重要な課題であるという立場から質問します。</p> <p>(1)市内における難聴で困っている高年齢者の相談窓口やサポート体制についてききます。</p> <p>(2)市立病院における難聴で困っている高年齢者の診療や治療の体制についてききます。</p> <p>(3)加齢性難聴で困っている人の支援として、補聴器購入の助成を行うことについて認識をききます。</p>	
5	<p>生理の貧困について</p> <p>(1)「生理」に対する取り組みや考え方について</p> <p>①すべての女性が衛生的に生活できる環境を確保するために、市として取り組むことについて認識をききます。</p> <p>②ジェンダー平等の実現と、生理をめぐる偏見や誤解を社会から解消していくために、市として取り組むことについて認識をききます。</p> <p>(2)学校におけるジェンダー平等と生理の貧困の解消について</p> <p>①ジェンダー平等の実現のために、中学校において男女ともに生理について学ぶ機会を設けることについて認識をききます。</p> <p>②すべての女子生徒が学校で衛生的に生活できる環境を確保するために、教育委員会として取り組むことについて認識をききます。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
14	市民クラブ	いそむら あきこ

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>虐待やいじめなどを受けている子ども自身からの相談体制について</p> <p>厚生労働省の公表によると、令和2年度の児童相談所による児童虐待相談対応件数は20万5044件で、令和元年度より1万1264件(5.8%)増え、過去最多となりました。また、文部科学省の公表によると、令和3年度のいじめの認知件数は新型コロナによる一斉休校などの影響で減少に転じた令和2年度から、19.0%上昇して61万5351件で過去最多となりました。とくに小学校で認知件数が増加し、初めて50万件を超えました。</p> <p>虐待やいじめなどが起こらない対策も当然重要ではありますが、併せて、子ども自身からの相談しやすい体制づくりも急務であると考えます。そこで、以下について伺います。</p> <p>(1) 現状の相談体制について</p> <p>①虐待などの相談窓口に関する子どもへの周知の取組みについて伺う。</p> <p>②いじめなどの相談窓口に関する子どもへの周知の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 相談窓口・通報機能の充実について</p> <p>①子どもからの相談先となる子ども家庭支援センターにおいて、子どもにもわかりやすく相談しやすい窓口を設置してはいかがかと考えるが認識を伺う。</p> <p>②小中学生に貸与されているタブレットを活用し、相談できる体制を構築してはいかがかと考えるが認識を伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p data-bbox="315 264 1240 309">AED（自動体外式除細動器）の活用について</p> <p data-bbox="315 394 1240 712">日本では、2004年7月の非医療従事者によるAED使用が認可されて以来、AEDの設置普及が進んできました。しかし、その一方で、総務省消防庁の「令和3年版救急救助の現況」によると、令和2年の1年間に一般市民に目撃された心原性心肺機能停止傷病者（突然の心停止）25,790人のうち、AEDが使用されたのは1,092人と、わずか4.2%にすぎないというデータがあります。</p> <p data-bbox="315 730 1240 853">万が一、そのような場面に遭遇した際、適切にAEDが活用されるための取組みが重要であると考え、以下について伺います。</p> <p data-bbox="315 969 1240 1048">(1) 市内のAEDの設置状況と活用状況、市民の認知度について認識を伺う。</p> <p data-bbox="315 1115 1240 1193">(2) 学校を含む公共施設に設置されているAEDの屋外への設置状況について伺う。</p> <p data-bbox="315 1261 1240 1294">(3) 過去5年間のAEDの貸出し状況について伺う。</p> <p data-bbox="315 1361 1240 1440">(4) AEDの設置場所（AEDマップ）の周知と情報更新の取組みについて伺う。</p> <p data-bbox="315 1507 1240 1675">(5) 京都大学などの研究チームが公表した調査結果において、AEDの使用に男女差があることが指摘されている。女性への使用については、どのような周知・啓発活動がされているか伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
3	<p data-bbox="310 264 973 309">中学校の校則のあり方について</p> <p data-bbox="310 389 1244 712">令和4年第2回定例会にて、校則について一般質問しました。その後、文部科学省において、生徒指導に関する学校・教職員向けの基本書である「生徒指導提要」が12年ぶりに改訂されました。それを踏まえ、東京都教育委員会では、都内公立学校全ての教職員が「生徒指導提要」の内容等を十分に理解できるよう、教職員向けデジタルリーフレットも作成されています。</p> <p data-bbox="310 725 1244 860">子どもの人権を尊重し、学校のルールづくりに主体的に関わる取り組みが必要であると考え、以下について伺います。</p> <p data-bbox="323 967 1224 1048">(1) 各中学校での具体的な校則の見直し状況について伺う。</p> <p data-bbox="323 1111 1130 1151">(2) 生徒指導提要の主な改定内容について伺う。</p> <p data-bbox="323 1209 1237 1339">(3) 生徒指導提要の改定を踏まえた、校則改定のプロセスの明文化や各校のホームページへの掲載など、検討状況について伺う。</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
4	<p>認知症施策の推進について</p> <p>令和元年第3回定例会にて、認知症施策について一般質問しました。認知症患者は2025年に、65歳以上の高齢者5人に1人の割合となり、全国で700万人に達すると推計されています。</p> <p>認知症になっても地域社会で安心して暮らせるように、本市の認知症施策の推進について伺います。</p> <p>(1) 認知症カフェについて</p> <p>①過去5年間のオレンジカフェ矢野口(認知症カフェ)の利用状況について伺う。</p> <p>②居住地から開催場所までが遠く、参加が難しい認知症の方への移動支援の検討状況について伺う。</p> <p>(2) 新たな認知症施策の検討状況について伺う。</p> <p>(3) 認知症サポーターのチームづくりと活躍の場の体制づくりについて伺う。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
15	市民クラブ	武田まさひと

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	<p>農地の保全と都市型農業の推進について</p> <p>都市の農地について、「宅地化すべきもの」から都市に「あるべきもの」と位置づけ、国の方針は大きく方向転換をしました。</p> <p>年々農地が減っている現状に歯止めをかけ、現状ある農地を次の世代に繋いでいけるよう、持続可能な農地の保全と都市型農業の推進策を確立する必要があると考え質問をします。</p> <p>(1) ここ10年の農地面積と農家件数の推移について伺います。</p> <p>① 農地面積の推移（果樹、野菜、水田）について</p> <p>② 農家件数の推移（果樹、野菜、水田）について</p> <p>(2) 農家開設型市民農園とファミリー農園について伺います。</p> <p>① 開設個所数と面積について</p> <p>② 課題と今後の取り組みについて</p> <p>(3) 体験農園について伺います。</p> <p>① 農家開設型市民農園やファミリー農園との違いを伺う。</p> <p>② 課題と今後の取り組みについて</p>	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	再生エネルギーや自然エネルギーへの推進	
	について	
	地球温暖化防止とカーボンニュートラルの実現	
	に向けて、東京都では新築住宅への太陽光パネル	
	の設置義務をハウスメーカーに課すこととなり	
	ました。安心して使える再生可能エネルギー、自	
	然エネルギーへの転換を推進していくべきと考	
	え質問をします。	
	(1) ソーラーポテンシャルマップについて伺い	
	ます。	
	① 他自治体の事例について	
	② 稲城市でのソーラーポテンシャルマップ作成	
	についての市の認識について	
	③ 課題と今後の取り組みについて	
	(2) ソーラーシェアリングについて伺います。	
	① 他自治体の事例について	
	② 稲城市でのソーラーシェアリングの推進につ	
	いての市の認識について	
	(3) 太陽光に限らず、再生エネルギー、自然エ	
	ネルギーへの変換について市の認識を伺います。	

通告番号	会派名	氏名
16	起風会	中田 中

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>稲城市の地域経済循環分析について</p> <p>経済産業省と内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供する地域経済分析システム（RESAS:リーサス）では、自治体の稼ぐ力や所得の流入を見える化できる「地域経済循環マップ」という機能が提供されている。</p> <p>この「地域経済循環マップ」から明らかになる稲城市の経済的な強み・弱み・課題について市の認識と取り組み方針を確認したいと考え、質問する。</p>	
	(1) 地域経済分析システムの地域経済循環マップ（およびそのベースとなる環境省の地域経済循環分析）について市の認識を確認したい。	
	(2) 稲城市の地域経済循環マップについて	
	① 生産分析の結果（産業構造や各産業の稼ぐ力等）について市の認識を確認したい。	
	② 分配分析の結果（雇用者所得やその他所得の流入、一人当たりの所得水準等）について市の認識を確認したい。	
	③ 支出分析の結果（消費や投資の流入等）について市の認識を確認したい。	
	④ 地域経済循環率の結果について市の認識を確認したい。	
	(3) 地域経済循環分析から分かる市経済の特性（強み・弱み・課題等）について市の認識を確認したい。	
	(4) 稲城市の稼ぐ力を高めるにはどのような取り組みが必要と考えているか、また（コロナ禍と重なるため成果の判断は難しいが）2018年以降に行ってきたそれに関連する取り組みについて確認したい。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	<p>稲城市の少子高齢化の状況について</p>	
	<p>2018年以降の稲城市の状況を確認するため、2018年1月から2023年1月にかけての稲城市の人口構成の変化を調べてみた。その結果、全体としては少子高齢化が緩やかに進んでいるが、地域別ではかなり濃淡がある状況（特にニュータウン地区は相当深刻）であることが分かった。</p> <p>この内容についての市の認識を確認すると共に、その間の市の課題認識や取り組みについても確認したいと考え、質問する。</p>	
	<p>(1) 高齢者（65歳以上）の人口変化について、市全体と地区別（矢野口、東長沼、大丸、百村、坂浜、平尾、押立、向陽台、長峰、若葉台）の状況（数値）を確認したい。</p>	
	<p>(2) 15歳未満の人口変化について、市全体と地区別の状況を確認したい。</p>	
	<p>(3) 生産年齢人口（15～64歳）の変化について、市全体と地区別の状況を確認したい。</p>	
	<p>(4) 市全体及び地区別の年齢別人口構成の変化（地域での偏りや急激な少子高齢化等）が生じた要因について、市の認識を確認したい（土地区画整理事業やマンション建設等）。</p>	
	<p>(5) 市全体及び地区別の年齢別人口構成に対する課題と今後の取り組み方針（特に今後のニュータウンの少子高齢化対策）について確認したい。</p>	

通告番号	会 派 名	氏 名
17	改革稲城の会	榎本 久春

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
1	緑の保全と創出に重要な役割を果たす小田良谷戸公園と清水谷戸緑地について	
	<p>稲城市は、多摩丘陵の緑や市内を流れる清流など豊かな自然環境に恵まれ、市民生活に安らぎと潤いを与えてくれています。しかし市内では、民間事業者による森林を伐採してのミニ開発など、丘陵地の緑が減少してきている地域もあります。人口が増加傾向にあり、都心に近く、利便性の良い稲城市ですが、この貴重な自然環境を将来へと継承していくために、緑の保全と創出を推進していかなければならないと考えます。稲城市では、「水と緑の継承と創造」を理念とした稲城市緑の基本計画が策定されており、先日、建設環境委員会で基本計画改定について説明がありました。小田良地区については組合施行により区画整理事業が進んでいますが、自然環境を活かした「稲城ふれあいの森」や「大塚牧場」などが確保され、一定の緑地が保全されてきております。今後も緑豊かな住みよい街としての街づくりを願うことから、緑の保全と創出について伺います。</p>	
	(1) 稲城市緑の基本計画を改定するにあたって、意見公募を行うとなっております。寄せられた意見について伺います。	
	(2) 小田良谷戸公園の進捗状況について伺います。	
	(3) 清水谷戸緑地の緑の保全について市の認識を伺います。	

項目 番号	質 問 要 旨	摘 要
2	高齢者虐待の現状と市の取り組みについて	
	<p>人に対する暴力や虐待が現代社会の大きな問題になっています。暴力や虐待の中でも家庭や介護施設における高齢者の虐待も年々増加傾向にあります。高齢者人口の増加により虐待件数の増加も考えられますが、在宅・施設ともに相談・通報件数は増加しています。高齢者虐待は外部が気付きにくく、発見が遅れてしまう例も少なくありません。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、家族等の介護時間が増え介護負担の増加などによることも考えられます。市における高齢者虐待防止の取り組みについて伺います。</p>	
	<p>(1) 在宅・施設と高齢者虐待のおそれのある過去5年間のケースについて、相談・通報件数と虐待と判断した件数について伺います。</p>	
	<p>(2) セルフネグレクトも問題になっていますが、市の考えについて伺います。</p>	
	<p>(3) 虐待の早期発見の対応や虐待を発生させない仕組みが重要と考えますが、市の取り組みについて伺います。</p>	

通告番号	会派名	氏名
18	起風会	鈴木 誠

項目番号	質問要旨	摘要
1	<p>単独消防のまち・稲城の各種防災施策について</p> <p>初当選時から3期、全48回の定例会に渡り一貫して防災を軸に一般質問を続けてきた。鶏口となるも牛後となるなかれ。この10年余りの間に稲城市が単独消防として鋭意多くの施策に取り組んでいただき感謝の念に堪えないが、</p> <p>(1) 施設・資機材・車両等について</p> <p>①稲城市消防本部並びに消防団において、どのような施設・資機材・車両等が拡充、配備されたのか伺う。</p> <p>②上平尾消防出張所の完成により市民の安心安全向上が図られたが、出張所の運用開始前後での火災出動、救急出動における変化を伺う。</p> <p>(2) 稲城市地域防災計画を中心とした各種防災計画について</p> <p>①多摩直下地震による稲城市の被害を想定して策定された稲城市地域防災計画であるが、その後国内で起きた度重なる地震や水害等をどのように計画に反映し改定してきたのか伺う。</p> <p>(3) 民間団体・企業との協定締結について</p> <p>昭和56年度から平成22年度までの30年間で25件、平成23年から記載される令和2年度の10年間では39件と約4.7倍のペースで協定数が激増しているが、</p> <p>①どのような理由でこうした民間との協定を大きく増やせる事になったのか、伺う。</p> <p>②記載の令和2年度以降、さらにどのような団体企業との新たな協定が結ばれて来ているか伺う。</p> <p>(4) 単独消防体制を保ち続けることについて</p> <p>①未だ一部市民の方々からは東京消防庁に加入しないことに対する不安や不満の声を聞くことがある。メリット／デメリットを改めて広く周知すべきだが、市の見解を伺う。</p>	

2	<p>市の予防接種行政について</p> <p>令和2年3月以降、爆発的に新型コロナウイルス感染症が広がった事で改めて『予防接種行政』の難しさというものが世界的にも注目されたわけだが、</p> <p>(1) ワクチン助成の考え方について</p> <p>①5月に感染症法上の位置づけが5類となるだろう新型コロナウイルスのワクチンの取り扱いについて、市としてはどのような考えているか伺う。</p> <p>②80歳までに約3人に1人が罹ると言われる帯状疱疹は40代以下の発症も増え、重症化の懸念に対して帯状疱疹ワクチンの助成に乗り出している自治体も増えつつある。市として導入の考え方を伺う。</p>	
3	<p>上平尾（平尾4丁目）地域の交通課題について</p> <p>昨年末の稲城上平尾土地区画整理組合解散記念祝賀会で同地域の土地区画整理は終わり、今では多くの皆様を迎え子供たちも賑やかだが、それに比例するかのよう交通事故が多いことも事実である。</p> <p>(1) 交差点信号機について</p> <p>①上平尾消防出張所前交差点は、特に坂上からの右折車が多いが土日は混雑もあり一回の信号で1～2台しか右折できない状況となっている。改善の余地はあるか伺う。</p> <p>②ひなた通りと平尾外周通りの交差点に信号設置することは土地区画整理時より課題となっているがその後の進捗を伺う。</p> <p>(2) 交通状況の改善について</p> <p>①上平尾消防出張所前交差点のラーメン店に出入りする車が交通障害のひとつにも見受けられる。出入口について右折左折専用にするなど店舗側への指導は出来ないのか、伺う。</p> <p>②ひなた通り・上平尾小田良線の交差点から前述の平尾外周通りとの交差点まで200m以上の相当長い距離間に横断歩道なども無く、住民らは遠回りするか、或いはやむを得ず横断するかという危険な状況も見受けられる。是非とも中間地点あたりに横断歩道を設置すべきと考えるが、市の見解を伺う。</p>	

『世代循環が出来るまちづくり』について

平成23年4月に85,005人だった市人口は令和5年2月時点で93,398人、全国自治体人口増減率ランキング2022では人口増減率が都内で3位、島しょ部を抜かすとなんと1位という結果であり、まさに稲城の大発展期とも言える状況にある。

先ほど市消防本部関係の拡充更新は聞いたが、この間には市組織も大きく改革され、保育行政は大幅に改善、稲城市健康プラザ・健診センターが完成し、拙いながら提案してきた観光協会や姉妹友好都市交流協会も次々と設立された。また各種モニュメントに続き、市歌・市の鳥も制定され、この3月からは夕方のチャイムが稲城市歌に変更される等、大きく増えた市民の皆様に『稲城こそが故郷だ』『また次の世代がこのまちを人生のステージに選ぼう』と意識してもらうことが取り組むべき施策であると考えます。

(1) ハード面でのまちづくりについて

- ①民間施行土地区画整理組合事業並びに市施行土地区画整理事業について、進捗と今後の見通しを伺う。
- ②『TOKYO GIANTS TOWN』構想について、稲城市としてはどのような協力が可能であるのか、改めて伺う。
- ③一部老朽化等も見られる道路や橋梁、文化センター等の公的施設であるが今後の更新について考え方を伺う。
- ④虫食いのように残るニュータウン事業予定地について東京都に対してはその有効活用を求めたいところであるが、市としての見解を伺う。
- ⑤平尾分譲住宅団地の建て替え決議が少し先延ばしとなってしまうようだが、本年度取り組まれた平尾団地の再生に向けた基本構想図作成等含めて市行政としてはどのような認識か伺う。

(2) ソフト面でのまちづくりについて

- ①『自転車のまち稲城』のイメージ戦略とその効果は現時点でどのように捕捉されているか伺う。
- ②『MECHANICAL CITY INAGI』については特に一部絶大な支持を得て成功を収めているが、今後はこのイメージを財産として活用すべきと考えるが市の見解を伺う。
- ③郷土愛を育む一丁目一番地は自分が住んでいる場所の成り立ち、歴史を理解することにあると考える。老若男女問わず、自分のまちを知ってもらうために取り組むべきことは何か。市の考え方について伺う。